

生田緑地のキノコ追録Ⅳ

小山明人*¹

An Additoional List of Fungi in Ikuta-Ryokuti Park, Kawasaki City IV

Akito Koyama *¹

I はじめに

生田緑地のキノコ調査は生出ら (1987)・鬼塚・吉田 (1991)・若宮 (1997)・小山 (1998,2005,2006)・井口 (1998,2003) によってその成果が発表されている。井口 (2003) によると 234 属 433 分類群であるが、小山 (2006) により 4 属 22 分類群を追加し 238 属 455 分類群である。今回、リストに追加すべき種を確認したので報告する。

II 分類について

今関・本郷 (1987,1989) に準拠した。

III 結果

子のう菌類

ノボリリュウタケ科 Helvellaceae

オオシトネタケ *Discina parma* Breitenb. et Mass Geest. (2006/4/28)

胞子の両端が嘴状に尖らず、ひげ状突起があることから表記のように同定した。生田緑地からはすでに井口 (2003) によるオオシトネタケそのもの、あるいは近縁の種 (未熟品) の報告がある。

担子菌類

ヒダナシタケ目

タコウキン科 Polyporaceae

マイタケ *Grifola frondosa* (Dicks. : Fr.) S.F.Gray (2006/10/26)

本標本はコナラの根元に発生したものである。井口 (2003) による報告はないが、生田緑地では鬼塚・吉田 (1991) により報告されて以来、2 例目である。

採集者 岡部孝行氏

ハラタケ目

キシメジ科 Tricolomataceae

ハリガネオチバタケ *Marasmius siccus* (Schw.) Fr. (2006/7/16)

本標本の胞子は長さ 18-21 μ m でありハナオチバタケ (胞子の長さ 11-15.5 μ m) や井口 (2003) が報告した *Marasmius fulvoferrugineus* Gilliam ホウライタケ属の一種 (胞子の長さ 9.2-15.5 μ m) より長く表記のように同定した。

モエギタケ科 Strophariaceae

スギタケ *Pholiota squarrosa* (Müller : Fr.) Kummer (2006/11/2)

謝辞

本稿をまとめるにあたり、井口潔氏にご助言いただきました。御礼申し上げます。また、発生記録の確認など岡部孝之および津田由美子の両氏にご協力いただきました。感謝いたします。

引用文献

- ・井口潔 (1998) .生田緑地の菌類相について (その 1) .川崎市青少年科学館紀要 (9) : 29-34.
- ・井口潔 (2003) .川崎市生田緑地のきのこ相一環境解析の基礎データとして一.川崎市自然環境調査報告Ⅴ : 98-145.
- ・今関六也・本郷次雄 (1987) .原色日本新菌類図鑑 I .325pp.+72pls.,保育社,大阪.
- ・今関六也・本郷次雄 (1989) .原色日本新菌類図鑑 II .315pp.+114pls.,保育社,大阪.
- ・生出智哉・こけ・きのこ班 (1987) .川崎市域の蘚苔類.川崎市自然環境調査報告Ⅰ : 17-36.
- ・鬼塚陽子・吉田多美枝 (1991) .生田緑地のキノ

*1 川崎市青少年科学館

コ.川崎市自然環境調査報告Ⅱ：59-70.

- ・小山明人（1998）.生田緑地におけるキノコの季節的発生.川崎市青少年科学館紀要（9）：35-40.
- ・小山明人（2005）.生田緑地のキノコ追録Ⅱ.川崎市青少年科学館紀要（16）：59-60.
- ・小山明人（2006）.生田緑地のキノコ追録Ⅲ.川崎市青少年科学館紀要（17）：29-32.
- ・若宮崇令（1997）.生田緑地のキノコ追録Ⅰ.川崎市青少年科学館紀要（8）：25-32.



オオシトネタケ



マイタケ



ハリガネオチバタケ



スギタケ